

# かわにし

議会だより

第138号

2019

7.15



川西町議会H.P.  
QRコード

## まぶしいー！

小松保育所 P19に関連記事

|                     |    |
|---------------------|----|
| 議会議員選挙              |    |
| 新人6人当選 .....        | 2  |
| 9人の議員が町政をただす .....  | 9  |
| 政務活動費を公開 .....      | 21 |
| 追跡 防災情報発信が変わる ..... | 26 |



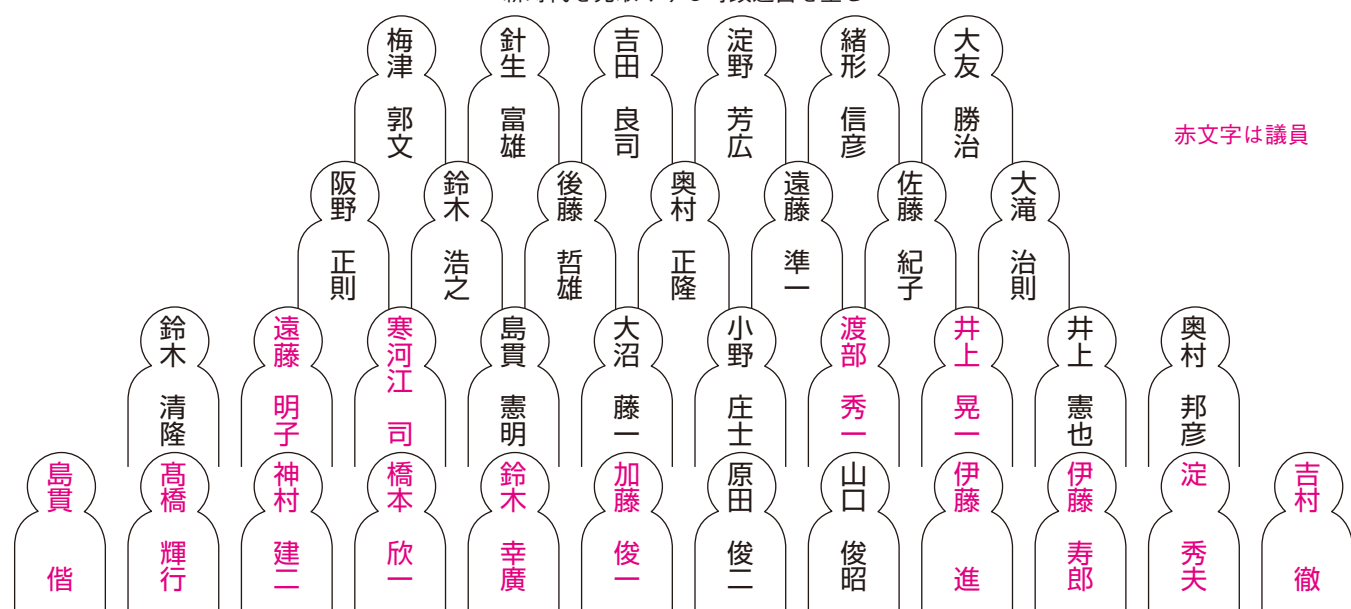
# 公平性、透明性、信頼性を重視

# 開かれた議会をめざす

議会  
人事



新時代を先取りする町政運営を望む



議長に  
**加藤俊一**  
議員

副議長に  
**鈴木幸廣**  
議員



## 議会議員選挙

# 新人6人当選

4月21日町議会議員選挙が行われ、定数14に対して15人が立候補し、その結果、現職7人、元職1人、新人6人が当選しました。  
5月7日に初議会が行われ、議長に加藤俊一議員、副議長に鈴木幸廣議員を選出し、町長提案の議会選出監査委員に吉村徹議員を選出しました。

また、各常任委員会、議会運営委員会の委員を選出し、正副委員長を選出を行いました。監視機能、政策提言等、議会本来の権限行使を確かなものとし、開かれた議会を進化させていかなければとの決意を新たにしました。

## 町民の多様な意見を 把握し政策に反映する

議長 加藤俊一

議員各位のご推挙により、議長の要職に再度就くことになりました。まことに身に余る光栄であり、その責任の重さを感じております。  
議会の役割は、行政の監視機能および、いかに町民の負託に応えるかであります。平成25年制定の議会基本条例のもとに各地区での意見交換会等を通じ町民参加型、開かれた議会としてさらに議会改革を進めます。  
町民の皆様のご協力をお願い申し上げます。

新たな  
人事が  
決まる

- 議会図書室運営委員会  
委員長 鈴木 幸廣  
委員 橋本 欣一、伊藤 進、神村 建二
- 置賜広域病院企業団  
議会議員 加藤 俊一、淀 秀夫、渡部 秀一
- 置賜広域行政事務組合  
議会議員 加藤 俊一、高橋 輝行、寒河江 司
- 予算特別委員会  
委員長 井上 晃一  
副委員長 淀 秀夫  
委員 伊藤 進、神村 建二、伊藤 寿郎
- 議会運営委員会  
委員長 橋本 欣一  
副委員長 井上 晃一  
委員 鈴木 幸廣、伊藤 進、渡部 秀一、井上 晃一
- 産業厚生常任委員会  
委員長 神村 建二  
副委員長 島貫 借  
委員 高橋 輝行、伊藤 寿郎、吉村 徹、渡部 秀一、井上 晃一
- 広聴広報常任委員会  
委員長 伊藤 寿郎  
副委員長 遠藤 明子
- 総務文教常任委員会  
委員長 伊藤 進  
副委員長 寒河江 司  
委員 淀 秀夫、橋本 欣一、鈴木 幸廣、遠藤 明子
- 議会選出監査委員  
吉村 徹
- 議長 加藤 俊一
- 副議長 鈴木 幸廣



6月定例会の  
あらまし

6月定例会が6月6日から20日までの15日間の会期で開催された。

第1日目に、報告事項3件、平成30年度補正予算の専決処分3件、財産の取得1件、を審議した後、条例3議案、字の区域及び名称の変更2件、請願6件を常任委員会に付託、令和元年度補正予算4件の審査を予算特別委員会に付託した。

第2日目及び7日目に一般質問を行い、9議員が指定管理の在り方、庁舎跡地利用、福祉行政などを取り上げ、

町政をただした。

第8日目を以降に常任委員会、予算特別委員会分科会を開き、議案を審査した。

最終日に、本会議を開き、付託した9議案を原案通り可決、請願2件を採択、意見書1件を発議可決して閉会した。

6月議会ということもあり前年度予算の確定や人事異動に伴う予算の補正が主なものであった。改選後の初議会のため関心が高く傍聴は20人であった。

# 太塚小・川西中エアコン工事始まる 学習環境の改善進む

## 繰越明許

平成30年度内に事業が完了しなかった次の事業予算が繰り越され承認された。

- 新庁舎整備事業  
(新庁舎整備に伴う造成工事) 9076万円
- プレミアム付き商品券事業(消費税引き上げに対する、低所得者

## 対策事業)

- 138万5千円
  - 担い手支援・経営強化支援事業(農業機械補助) 854万1千円
  - 小学校施設空調整備事業(大塚小へのエアコン設置事業)
  - 3939万8千円
  - 中学校施設空調整備事業(川西中へのエアコン設置事業)
  - 5510万1千円
- (金額は令和元年に繰り越されたもので、総予算ではない)
- 以上であり、特に学校施設へのエアコン設置事業が注目される。昨年夏の猛暑で国が補助事業で全学校にエアコンを設置することとした。工期は8月末まで。環境整備で学力向上が期待される。
- P20関連記事

## 置賜農業高校2年生3名が議会傍聴

6月20日、本会議にインターンシップ(就業体験学習)で来庁し、初めて議会傍聴をしました。自分の住む町の問題など、町を担う若い世代の声をお聞きしました。

▼重野 浩汰さん(写真右)  
米沢市から通学しているが、冬季の除雪が良くないので大変です。

▼中山 大我さん(写真中)  
小学校が減少するのは寂しく思います。もつと川西町の良いところを宣伝して欲しい。

▼坂部 響さん(写真左)  
豆ガールズとして商品開発・販売を頑張っています。リピーターも増え嬉しいです。町にはPR・宣伝をお願いします。

**医療的ケア児受け入れのためのガイドライン作成の検討会**  
痰の吸引などが必要な児童を、町立小中学校に受け入れるためのガイドラインの作成に取り組む。医師、看護師、学校関係者などで検討される。

来年度から1名入学の予定である。

暑い夏も安心。快適に勉強できる = 川西中

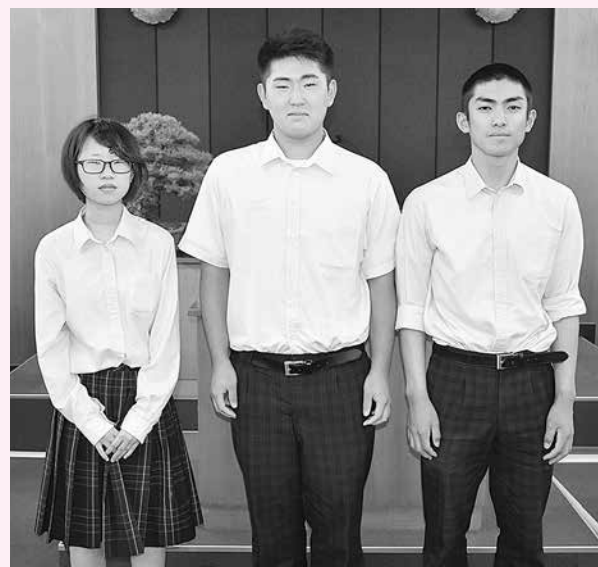


小松幼稚園・KIDS' VILLAGE (キッズ ビレッジ)

## 幼保無償化準備 始まる

この10月から実施される、幼稚園、認定こども園の教育費、保育所の保育料が、国から補助される。

幼稚園の場合、2万5700円を上限に、保育園の場合は3万7000円を上限に補助される。ただし、保育



若者の声をまちづくりに生かします



# 集落ネットワーク圏形成支援事業

## 買い物難民支援全町展開

令和元年度一般会計など4会計の補正予算が予算特別委員会で審議された。主な内容は、次のとおりだが、過疎地域等集落ネットワーク圏形成支

令和元年度の、総務省の過疎地域等自立活性化推進交付金事業の新規事業として、「過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業」の募集の周知が県から、1月下旬にあった。各地区交流センターに、打診したところ、応募締め切りが2月中

句であったにもかかわらず、吉島地区が名乗りを上げた。吉島地区は、毎年この事業に応募しており実績も十分であるが、町と連携して計画書を作成し、申請したところ、採択された。事業の内容は、「買い物難民支援全町展

援事業により、吉島地区に1575万円の交付金が決出し、各種の地域づくり事業に取り組む。

### 補正予算



欲しいものを出向いて届ける

きらりよしじまネットワーク

| 令和元年度各会計補正予算        |                             |           |
|---------------------|-----------------------------|-----------|
| 会計別                 | 歳入歳出予算                      | 議決の内容     |
| 一般会計(第1号)           | 109億9127万円<br>(2627万円を追加補正) | 全員賛成により可決 |
| 下水道事業<br>特別会計(第1号)  | 5億8811万円<br>(1万円を減額補正)      | 全員賛成により可決 |
| 介護保険事業<br>特別会計(第1号) | 18億7228万円<br>(23万円を減額補正)    | 全員賛成により可決 |

| 水道事業会計(第1号) |                         |           |
|-------------|-------------------------|-----------|
| 企業会計        | 歳入歳出予算                  | 議決の状況     |
| 収益的支出       | 4億6878万円<br>(28万円を追加)   | 全員賛成により可決 |
| 資本的支出       | 2億5217万円<br>(1600万円を追加) |           |

| 一般会計補正予算(第1号)の主な内容       |         |
|--------------------------|---------|
| (歳出)                     |         |
| コミュニティ助成 補助金             | 290万円   |
| 過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業 補助金 | 1575万円  |
| 中山間地域所得向上支援対策事業 農業施設整備   | 3845万円  |
| 虚空蔵山西線道路改良工事 工事費         | ▲2880万円 |
| 花丘町下小松線防雪柵設置工事 工事費       | ▲1950万円 |
| 森林環境譲与税基金積立金             | 132万円   |
| (歳入)                     |         |
| 過疎地域等自立活性化推進交付金          | 1575万円  |
| 社会資本整備総合交付金              | ▲4722万円 |
| 中山間地域所得向上支援対策事業県補助金      | 3845万円  |
| 財政調整基金繰入金                | 666万円   |
| 森林環境譲与税基金繰入金             | 132万円   |
| 自治宝くじコミュニティ助成金           | 290万円   |
| 道路整備事業債                  | ▲1380万円 |

### 総務文教常任委員会 第1分科会

**問** 過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業で、吉島地区以外での申請はあったのか。  
本年度は、吉島地区だけの申請であった。過去5年間では、小松地区、犬川地区、玉庭地区が申請している。

**意** 他地区からの申請要望に対して支援すること。

**問** 斎場運営事業の修繕内容は。  
1号炉の老朽化に伴う部分的な修繕であり、斎場運営

に支障を来すことのないよう対応していく。

**問** 医療的ケア児検討会事業とはどのようなものか。  
医療的ケア児を町立小中学校に受け入れる場合のガイドラインを作成するため、医師、看護師、学校関係者、関係機関等による検討会を設置する。

**意** 保護者や関係団体の意見を聴取するなど、実情に即したガイドラインにすること。

### 産業厚生常任委員会 第2分科会

**問** 字の区域及び名称の変更の内容は。  
県営土地改良事業の実施に伴い、高山地区の字界を変更する。

**問** 国土調査法に基づき、下小松地区の字界を変更する。  
強い農業・担い手づくり総合交付金の内容は。  
事業の募集に伴う農業経営体からの申請に基づき、農業機械・施設等の設備に対する補助支援を行う。

**意** 春作業用機械等について、農業者が必要とする時期に補助事業を有効活用するために、他事業を含めて補正予算のタイミングを調整すること。

**問** 森林環境譲与税額を全額基金に積み立て、森林整備に向けた森林所有者の意向調査や境界明確化等の事業を実施する。  
虚空蔵山西線道路改良工事費の減額理由は。  
社会資本整備総合交付金は、防災・安全等事業へ重点的に配分されるため減額となった。

**意** 事業の進捗を図るため、国からの社会資本整備総合交付金の財源確保に努めること。



# ここが聞きたい！ 町政をただす

## 9人の議員が一般質問

定例会第2日目と7日目に一般質問が行なわれ、9人の議員が町政について質問しました。  
通告順（発言順）に掲載します。

|     |                                                                                             |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| P10 | 伊藤 進 議員<br>① 農業政策                                                                           |
| P11 | 井上 晃一 議員<br>① 川西町内の街路灯防犯灯について                                                               |
| P12 | 吉村 徹 議員<br>① 10年をむかえた地区交流センターの地域づくりについて<br>② 平成31年度から申告会場が1ヶ所となった事について<br>③ 国民健康保険のお知らせについて |
| P13 | 渡部 秀一 議員<br>① 中心街のより良い形成のために                                                                |
| P14 | 伊藤 寿郎 議員<br>① 登下校時の子どもの安全対策について<br>② 6次産業支援事業の現況と今後の展開について                                  |

|     |                                                                                                         |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| P15 | 遠藤 明子 議員<br>① 地域づくりについて<br>② 公共交通について                                                                   |
| P16 | 橋本 欣一 議員<br>① 子どもの貧困対策について<br>② 国民健康保険税の軽減について                                                          |
| P17 | 島 貫 偕 議員<br>① 自治会のあり方について<br>② 空家対策について<br>③ 町の誘致企業について                                                 |
| P18 | 高橋 輝行 議員<br>① 今回の統一地方選挙について<br>② 総合管理計画について<br>③ 小学校区の学区再編について<br>④ 開発許可について<br>⑤ 船山あきと県議の県政活動報告の記事について |

⑤抜きの数字は掲載された質問。それ以外は紙面の都合により掲載できなかった。  
その内容は、議会ホームページの録画中継によって見るができる。（<http://www.town.kawanishi.yamagata.jp>）

### 一般質問とは

一般質問は、町の行政全般（一般事務）に関し、執行者所見や疑義について質問できるものである。質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしている。本町議会では質問と答弁がかみ合うように、全文通告制がとられている。また、質問に対する答弁書が作成され、一般質問当日の朝に全議員に配布される。質問時間は、1人につき質問答弁を含め60分以内で完了することとされている。再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができる。

## 一般質問

表 川西町介護保険料

| 段 階  | 平成30年度 |          | 令和元年度 |         | 令和2年度 |     |
|------|--------|----------|-------|---------|-------|-----|
|      | 率      | 保険料      | 率     | 保険料     | 率     | 保険料 |
| 第1段階 | 0.45   | 3万1860円  | 0.375 | 2万6550円 |       |     |
| 第2段階 | 0.75   | 5万3100円  | 0.625 | 4万4250円 |       |     |
| 第3段階 | 0.75   | 5万3100円  | 0.725 | 5万1330円 |       |     |
| 第4段階 | 0.90   | 6万3720円  |       |         |       |     |
| 第5段階 | 1.00   | 7万0800円  |       |         |       |     |
| 第6段階 | 1.20   | 8万4960円  |       |         |       |     |
| 第7段階 | 1.30   | 9万2040円  |       |         |       |     |
| 第8段階 | 1.50   | 10万6200円 |       |         |       |     |
| 第9段階 | 1.70   | 12万0360円 |       |         |       |     |

※本表の「率」は年額基準額である第5段階の保険料に乗ずる標準割合

介護保険条例の一部を改正  
消費税が10%に引き上げられるため、町民税非課税世帯全体を対象として保険料率が引き下げられる。  
第1段階（生活保護被保険者・世帯全員が町民税非課税の老齢福祉年金受給者・本人年金収入80万円以下）該当者は平成30年度の年額保険料3万1860円を令和元年度の年額保険料2万6550円に軽減する。  
第2段階（世帯全員が町民税非課税かつ本人年金収入80万円超120万円以下）5万3100円から4万4250円に軽減する。

50円に。  
第3段階（世帯全員が町民税非課税かつ本人年金収入120万円超）5万3100円から5万1330円に軽減される。  
町の保険料収入の影響額は、約700万円。公費負担割合は、国50%、県25%、町25%となる。  
全員賛成により可決

1万6000円・投票管理者1万2600円・期日前投票管理者1万1000円・投票立会人1万7000円の報酬を各々2000円引き上げる。また、選挙立会人8800円・期日前投票立会人9500円・開票立会人8800円の報酬を各々1000円引き上げる。  
全員賛成により可決

森林環境譲与税基金として積み立て、管理運用するため本条例を制定する。  
税制の内容は、令和6年度から国内に住所を有する個人に対し、森林環境税として個人住民税均等割と併せて年額10000円が課税徴収される。また、本年度から森林環境税の収入額に相当する額が、森林環境譲与税として前倒しで市町村及び都道府県に対して、交付される。  
譲与基準は、私有林人工林面積50%・林業就業者数20%・人口30%の割合となる。  
全員賛成により可決

## 条例

# 介護保険料軽減 低所得者の高齢者保険料の軽減を強化



# 一般質問

## 農業政策

### 本町集落営農、法人の状況把握をしているか

#### 町長―農事組合法人、株式会社は把握している



伊藤 進 議員

**伊藤** 日本農業新聞が行った2018年の集落営農法人・組織の調査結果で、「経営規模が大きいほど減収割合も高い。大規模化の弱点が露呈した格好だ」「経営リスク分散で、複数の作物導入の多角経営を進めるが、天候不順で野菜や麦、大豆などの生産量が落ち、販売価格の伸び悩みがあった」とある。本町の集落営農28組

織・会社法人12法人の状況を把握しているか。

**町長** 法に基づき町から認定を受けた認定農業者となる農事組合法人や株式会社の状況を把握している。これ以外は経営所得安定対策に係る申請等で状況を確認している。

国交省の土地管理に関する提言への見解

**伊藤** 国土交通省国土管理専門委員会

が人口減少や担い手不足を踏まえ、将来的に放置が予測される土地について、新たな管理の在り方の提言をまとめた。

それによると、「国は個人での利活用重視から、地域による管理へと方針転換する」「市町村管理構想図の作成を求める」とのことだが。

**町長** 具体的に国から何も届いていない

いが、国の動向、各機関からの情報収集を図りながら準備を進めていく。

**伊藤** 農地管理ができない状況下になつた場合これに含まれるか。

**町長** 「人・農地プラン」の仕組みを維持、耕作放棄地の拡大を抑制する取り組みを強化し、農地を適正かつ有効に利用していきたい。

農業振興マスタープラン計画と状況変化

**伊藤** マスタープランの計画よりも状況変化が速いと思うが。

**町長** アクションプラン計画期間の最終年度となる。農業情勢の変化や未着手事業に対応するため、新アクションプランを策定していく。

**伊藤** 基幹産業として位置づけていくなら、農地の耕作放棄にならない工夫が必要ではないか。

**町長** 関係機関、町が農地確保、農地の適正

管理実施、地域での話し合い活動を軸とした農地集積に取り組んでいく。

**伊藤** 少子高齢化の農業・地域社会を維持継続していくため、さまざまなコーディネートやマッチングができる、機に臨んでは変に

機に臨んでは変に感じられる組織が必要ではないか。

**町長** 担い手育成・確保を目的の一つとしている再生協議会の中で、総合的な対応について検討する。

**井上** 農作物、特に水稲への被害が示唆されている。対応は、

**町長** 「光害対策ガイドライン」で問題提起され水稲への被害が示唆されているが、現状では、県農業技術普及課、JAでも被害状況は確認されていない。問題が潜在化していることを想定し、関係者、各機関と連携し円滑な対応を図る。

水稲など農作物への光害の対策は

**町長** LED防犯灯への苦情は寄せられていない。安全上問題があったら近隣自治会と調整し対応する。

**井上** 温暖化対策への効果の検証はな

**町長** 既存の1420台に新設の174台を加え合計1592台となった。

当初試算上では使用料金の58・1%の削減が図られる。同程度の明るさを保ちながらエネルギー使用量を削減でき十分に温暖化対策

## 市街地街路灯の維持管理に負担の格差

### 町長―街路灯委員会の中で協議をしてほしい

**井上** 川西町街路灯管理運営委員会が管理している街路灯の維持管理費が、世帯減少や商店の廃業などで負担が増加している。自治会によって負担金の格差も大きくなっている。高い自治会は5417円、安い自治会は227円で、24倍もの格差が生じている。街路灯運営委員会では、街路灯としての機能維持や補助金事業であることから、変更は難しいとの見解であった。

公平な受益者負担となるよう、町として対応できないか。

**町長** 平成25年に国補助の「商店街づくり事業」及び「川西町街路灯支援事業」により総事業費4550万円の内、国費2787万円、町費1763万円で整備された。平成26年度から効果測定を実施し、通行量などの実績を平成30年度まで報告している。

維持管理費の負担割合は、昭和53年に施行された規約を踏襲し沿線の18自治体と関係者の協議により決定、現在に至っている。

各自治体の考え方を反映しながら川西町街路灯委員会で協議を深

めていただきたい。

**井上** 世帯減少や商店の廃業などで負担が増加しているが。

**町長** 協働のまちづくりを進めており、街路灯委員会で対応していただきたい。

**井上** 温暖化対策への効果の検証はな

**町長** 既存の1420台に新設の174台を加え合計1592台となった。

当初試算上では使用料金の58・1%の削減が図られる。同程度の明るさを保ちながらエネルギー使用量を削減でき十分に温暖化対策

1本当たりの負担が増加している街路灯



法人組織の田植え作業



1本当たりの負担が増加している街路灯



# 中心街のより良い形成のために

## 町長 — 役場跡地利活用計画策定委員会が検討中



渡部秀一 議員

**渡部** 川西町役場跡地利活用計画策定委員会を2回開催したと聞く。公共施設および、移転の決まっている三菱鉛筆山形工場用地等を含めた中心街の形成が必要だと考える。また、施設の位置や人と車の流れ等も考慮して策定しているか。

**町長** 中心街のより良い形成のために、川西町役場跡地利活用計画策定委員会の内部委員会を10月に、外部委員会を12月に開始した。中心街活性化を踏まえた庁舎跡地利活用の検討が必要であり、中心街の賑わいづくり

につながる、多くの人が集まる機能が重要である。地元である小松地区の皆さんをはじめ、中央公民館を拠点に活動されている方々などの幅広いご意見を踏まえて進めている。

小松地区交流センター建設の要望や、商工会からの中心街の賑わいを創出する複合施設の提案も出されている。大切なのはこれからまちづくりに必要な人材育成、商工業活性化など、まちづくりが目指す方向性を定めることが優先されるべきと考える。

**渡部** 中心街の形成には多岐にわたる課題が出てくるが、専門家等に調査を依頼しながら中心街について考えるべきである。委員会の拡大も視野に入れ、総合的な素案づくりも進めるべきではないか。

**町長** 本町の中心市街地で町の顔として振興発展に大きく寄与している小松地区の活性化を主要施策に位置付けている。検討にあたっては、地域の代表者をはじめ、まちづくり、観光振興、産業振興、教育や福祉に携



中心街の賑わい創出を



納税者視点に立った申告会場—農村環境改善センター

**吉村** 平成31年度からの町民税、県民税の申告会場が農村環境改善センター1カ所に統合され実施されたが、不満や要望などはなかったのか。また遠方からの来場者に聞き取り調査を行ったか。

**町長** 申告期間中に会場が1カ所になったことについて、多くの意見として、「以前より会場が広くなりプライバシーの配慮が

なされている」「全地区を対象とした休日相談ができるようになった」「地区指定以外日でも相談ができるようになった」「待ち時間が少なくなった」「会場が遠くなった」など、おおむね好評の意見をいただいた。

今後ともこのたびの意見等を謙虚に受け止め、会場の環境整備を図るとともに、相談者の立場に立った対応を

**吉村** 指定管理制度として各地区公民館が地区交流センター

**町長** 医療費の把握に

心掛け効率的な申告相談業務に努めていく。

**国民健康保険の通知**

**吉村** 国民健康保険の医療費の通知を

当年1月から12月までの期間にできないか。

**町長** 医療費の把握に

点検を経て国民健康保険者である本町に届くまで少なくとも2カ月を要する。仮に当年の1月から12月までの通知となれば医療費を把握できる3月以降にしか通知することができないこととなり、確定申告の時期に利用できないことになる。以上のことから11月・12月については領収書の添付により申告していただくこととなる。

**町長** この10年間の間に指定管理料の見直しも図りながら進めてきており、毎年の指定管理業務のヒアリングの中で国の交付金事業や各種団体からの業務負担の増加も見受けられる。事務局職員の負担軽減がひとつの課題だと捉えている。

今後も協働のまちづくりを推進していく上で各地区における課題を把握するとともに、事業の精査と各団体の自立を促進し持続可能な地域づくりを一層推進していく。

## 確定申告

町長 — おおむね好評さらに環境を整える

## 申告会場が変更されたが



吉村 徹 議員

として運営が始まってから10年の節目を経過した。それぞれの地区課題の解決に向けた地域づくりを進めている中で、中心的に働いている事務局長をはじめとする職員が大変苦労している現状である。10年間の振り返りの検証が必要ではないか。



## 各地区交流センター職員の処遇改善を

**町長 一 地域自立推進制度を一層推進**

**遠藤**  
地域づくりを推進する地区交流

センター職員の処遇改善が必要では。

町長 各地区における課題を把握し事

立を促進し、担い手となる人材育成を進め、継続可能な地域づくりを推進していく。

**遠藤**  
は臨時職員の雇用  
10力月ではな

く通年雇用ができる体制に改善できないか。

**町長** 地域運営組織の  
必要性は強く認  
識しているが、その運  
営については地域内の  
合意形成、まちづくり  
人材の育成、事務局の  
充実などが全国的な課

題だと捉えている。

**遠藤** 自治会未加入者の増加に伴い交

しているが、自治会加入への対策はあるか。

町長 転入届出時に  
いて自治会への

加入案内を窓口で行っている。相互扶助の關係性が薄れている傾向にあるものと危機感を感じており、継続して自治会加入の促進に努めていく。

各地区交流センターの  
指定管理期間は妥当か

**遠藤** 地区経営母体の  
指定管理期間が  
4年間に延びた理由は。

**町長**  
町の総合計画で  
ある、かわにし

未来ビジョンの開始年度と前期計画期間に合わせ5年間とした。

これにより、かわにし未来ビジョンと協定期間が合致すると同時に、計画の見直しと連動した基本協定の締結ができるようになった

## 将来を見据えた公共交通の在り方は

遠藤 自動車免許証返納者が今後増え

ることを想定し町営バスを復活させ、予約の  
いらぬ公共交通の利  
用で高齢者の移動確保  
に繋げられないか。

意喚起や指導等を行うことも必要だと思うが、安全対策は大丈夫か。

**教育長**  
各道路管理者、警察、学校、教

育委員会の関係者等が状況を確認し、安全のために合同点検を行っており、対応が必要と判断されたところより順次改善を図っている。また点検だけではなく安全マップに記載し、児童生徒はもちろん保護者や地域住民に対し注意喚起を行っている。

伊藤 高齡ドライバーが集団登校中の

児童の列に突っ込むという痛ましい事故が増えている。ハード面・ソフト面を強化しこれ以上の悲劇がおきないように早急の対応と整備が必要と考えるが。

**町長**  
米沢警察署や関  
係団体、小中学

校関係機関の委員で構成された「川西町交通安全推進協議会」を設

置し、高齢者の事故防止の啓発活動を行っている。交通安全母の会では毎年高齢者世帯を訪問し啓蒙活動を行っている。毎年1月には各地区の交流センターを中心に交通安全集会が開催され交通ルールの遵守と正しいマナーの実践等を再確認していただき、高齢者の事故防止に努めている。

**伊藤** 年々増加する免許返納者への支援。

町長 平成30年4月より自主的に運転

免許証を返納された町民に対し、移動手段等の経費への支援を行っている。運転免許証自主返納の申請に來られた方に対し、デマンド交通の利用案内を行っている。

その他の  
質問  
6次産業を核  
に地域循環型  
経済の確立について質  
問した。

**町長**  
現在町内の公共交通手段はJ R

米坂線、フラワー長井線、山形交通が運行する小松・米沢間のバス民間タクシー、そして町が実施しているデマンド型乗合交通と福祉タクシーがある。

圏域内における交通ネットワークの維持や生活交通の広域的運行の在り方について協議を推進していく。

その他  
の質問

問した。



**遠藤明子** 議員



**伊藤寿郎 議員**



地域づくりの核となる地区交流センター職員



# 一般質問



橋本欣一 議員

## 子育て環境

### 子どもの貧困率はどうか

#### 町長 ー 各施策の実態から推計している

**橋本** 子どもの貧困が広がっている。県の調査では、平成25年度の貧困率は16・3%と発表された。現状はどうか。

**町長** 平成30年度の発表では、県の子どもの貧困率は16・0%と発表された。町でのこの調査の対象者が3人と少ないため、町としての貧困率は正確には出せない。

**橋本** 平成27年の国勢調査では、対象の0歳から17歳までの人口は約2200人で、県の貧困率16・0%を乗じれば350人となり、単純に貧困率対象数となる。状況はそれぞれ違っても、300人以上の貧困者がいるとすれば、町として調査して対応すべきと思うが。

**町長** 県や地域、教育機関等と連携し

情報収集、共有化を図っていく。

**橋本** 子育て環境の経済格差は、成長過程に大きく影響し、進学、就職にも格差が出てくるという。格差の無い環境が必要だ。

**町長** ひとり親支援と当を116人に支給し、生活保護は2世帯に給付している。10月からは幼児教育・保育料の無償化が始まる。食料

費の援助をしていく。教育分野では、学用品や修学旅行費、給食費などに支援する就学援助を84人、933万円を給付している。

子どもの居場所づくりでは、放課後児童クラブの利用料の補助を行っている。

本町には近隣で実施されている「子ども食堂」はまだない。

国保税の負担軽減は

**橋本** 今年度の国民健康保険税は、県への納付額が10・5%引き上げで、賦課額も高くなると答弁があった。

町の国保積立金は約2億円ある。取り崩して負担の軽減に使うべきと考えるがどうか。

**町長** 今年度は激変対応のため、積立金を4000万取り崩し、昨年度と同額とする。

大きな取り崩しで、引き下げを図るべきではないか。

**町長** 将来的には、国保会計の健全化のためには、積立金対応では賄えない。税率の見直しが必要となる。

**橋本** 国保税の軽減のためには、医療費の削減も必要だ。特定検診の受診率を上げ、健康状態の維持が必要だ。

**町長** 検診の受診率の向上やジェネリック医薬品の利用を高め、医療費の節減に努めたい。



子どもの居場所づくりハンドブック = 山形県HPより引用

# 防災

## 自治会未加入者への災害対応は町長 ー 個人の自助の意識を持っていただく

**島貫** ある自治会が解散したと聞く。その理由は7戸ほどの世帯で毎年役員をするのが大変だとのことである。町の対応はどうするか。

**町長** 自治会役員の担い手不足から解散を決議され解散申請が出された。災害時における事前対応として、「かわにし」の「川西町洪水避難地図」の配布、ホームページでの周知等を行い災害に対する構えと意識の啓蒙に努めている。

**島貫** 今後さまざまな考え方が増加し他の自治会も解散するのではないかと心配する。

**町長** 自治会未加入の場合、自助での対応は難しく、また行政が行う公助も自治会未加入者の対応を優先することはできない。万が一災害発生時は、個人の自助の意識を強く持つて頂くことになる。各地区自主防災組織に対し、自治会未加入者への災害対応の情報提供や避難活動等の協力について周知徹底を図る。

空き家対策は

**島貫** 町内には、300力所もの空き家があるが、吉島地区には今にも崩れそうな土蔵がある。事故が起きたら大変である。対応は大丈夫か。

**町長** 吉島地区の空き家については、2年前にも解体の要請を受けており、現状は認識している。現在も権利者を特定するための調査を継続しているが、相続人が確定していない状況では、行政代執行の手順は踏めない。

誘致企業の現状は

**島貫** 尾長島地内にある(株)平洲農園



地区自主防災組織による防災訓練

園は、町の誘致企業として起業しトマトの生産が行われている。誘致の経過と現状についてどうか。

**町長** (株)平洲農園はカゴメ(株)の技術支援を全面的に

受け、平成27年9月に設立された。令和元年の栽培は休作し、経営基盤の再構築と労務体制等の再検証を行い、2年からの再開を目指す計画である旨の報告を受けている。



# 一般質問



高橋輝行 議員

## 新庁舎建設による影響は

### 町長

町長 ー 厳しい財政状況が続く

**高橋** 町が策定した「公共施設等管理計画」を実施すると総額いくらになるのか。新庁舎建設により計画に影響はないのか。

しい財政状況が続くと見込まれる。

**高橋** 水道事業についても、県内トップの約21kmの石綿管の更新が必要では。

**高橋** 高山小学校の屋根の塗装（赤錆）等の対策について伺う。

**町長** 外部機関に当該施設を活用したいとの意向があり検討している。

**高橋** 健康福祉センター（旧町立病院）は築50年が経過し建物、設備ともに老朽化が著しい現状であるが今後の対応は。

**町長** 併設されている社会福祉協議会・川西診療所と併せて検討を進めている。

**高橋** 町議会議員選挙の投票率が町全体で58・1%と低かった。犬川地区では▼23・61%等軒並み低下

本町が保有する公共施設の修繕・更新費用の総額は760億2千万円である。1年あたりの整備額は19億円であり、年間支出見込み額の6億円を大きく超えるため、別途検討している。厳

している。その原因をどう考えているか。

このたびの選挙は無投票となる公算が大きく、気運の高まりが欠けていたことが投票率低下につながると推測している。

**高橋** 立候補者が少なかつたのは、定数そのものが多いのではないか。再検討する必要があると考える。

**高橋** 国土交通省が進めるコンパクトな町づくり「立地適正化計画制度」に取り組む考えは。

中心街の再整備に向けて、行政



新庁舎の基礎杭打設工事が進む

の中で、地域農業の営農形態について3つの組織（集落営農、法人、農協出資法人）をあげているが、町の考え方は。

**町長** 望ましい形態は一概に申し上げられないが、それぞれの経営体を選択したのであれば支援策を講じる。

**高橋** 国土交通省が進めるコンパクトな町づくり「立地適正化計画制度」に取り組む考えは。

**町長** 中心街の再整備に向けて、行政

**高橋** 今後の、児童数の状況からさらなる通学区域の見直しが必要と思うが、どのように進めるのか。

**町長** 学区再編整備計画に基づき、通学区域の関係者と協議し合意の整った後に進める。

**その他** 子育て支援施設、複式学級、開発許可の議会報告、国道113号、梨郷道路等について質問した。

### 表紙の写真



まぶしいー！

6月23日、小松保育園でプール遊びがおこなわれた。

梅雨の晴れ間の暑い日、園庭に設置されたプールでは子どもたちが大よろこびで水遊び。天気にもぐまれたこの日、水しぶきをあげてはしゃぐ子どもたちがまぶしくかがやく。水遊びで暑さに負けず元気に育て。

# 産得 財取

## 小型動力ポンプ付 積載車を更新

### 玉庭の積載車更新

「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」の規定により提案された。

町内の火災・災害時にいち早く対応できるように、より一層の充実



平成6年10月配備。24年間地域の安心安全に貢献。今回更新

を図り消防団活動の万全を期するため、前回導入後23年を経過した小型動力ポンプ付積載車を更新するものである。

ポンプ形式はBー3級。車両はキャブオーバー型、ダブルシート6人乗り、寒冷地仕様4WD、AT。配備先は第5分団第2部（玉庭地区松尾）指名競争入札落札者 山形市銅町株式会社社長谷川ポンプ製作所落札価格 841万5千円（消費税込み）納入期限 令和2年1月31日

|           |      |           |       |           |       |       |           |       |      |
|-----------|------|-----------|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|------|
| ○会派（届出順）  |      | 日本共産党町議団  |       | 緑風会       |       | 未来創生  |           | 無会派   |      |
| 橋本 欣一（代表） | 吉村 徹 | 神村 建二（代表） | 鈴木 幸廣 | 伊藤 寿郎（代表） | 渡部 秀一 | 寒河江 司 | 島 貫 偕（代表） | 高橋 輝行 | 淀 秀夫 |
| 加藤 俊一     |      |           |       |           |       |       |           |       |      |



政 務  
活動費

全議員の  
使 途 を 公 開 し ま す

議員に交付する政務活動費の使途

| 経 費       | 内 容                                                                                     |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 調 査 研 究 費 | 議員が行う町の事務、地方行政等に関する調査研究(視察を含む)及び調査委託に要する経費                                              |
| 研 修 費     | 1 議員が行う研修会、講演会等の実施(共同開催を含む)に要する経費<br>2 団体などが開催する研修会(視察を含む)、講演会等への議員及び議員の雇用する職員の参加に要する経費 |
| 広報・広聴費    | 議員が行う活動の広報・広聴活動に要する経費                                                                   |
| 要請陳情等活動費  | 議員が行う要請陳情活動、住民相談等の活動に要する経費                                                              |
| 会 議 費     | 1 議員が行う各種会議、住民相談等に要する経費<br>2 団体などが開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費                           |
| 資 料 作 成 費 | 議員が行う活動に必要な資料を作成するために要する経費                                                              |
| 資 料 購 入 費 | 議員が行う活動のために必要な図書、資料等の購入、利用等に要する経費                                                       |
| 事 務 所 費   | 議員が行う活動のために必要な事務所の設置及び管理に要する経費                                                          |
| 事 務 費     | 議員が行う活動に係る事務の遂行に要する経費                                                                   |
| 人 件 費     | 議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費                                                                   |

本町議会では議員活動に対して毎月1万円の政務活動費が交付されている。議会では議会基本条例に基づいて、使途を平成25年度から公表している。各議員から報告あった平成29年度の政務活動費の使途状況は下記の表のとおりである。議会ホームページでは各議員の政務活動費の領収書の公表を行っている。県内では最初に行い、全国的にみてもいち早い対応で、より透明度を高めている。

(単位:円)

| 議員名    | 支 出                             |     |                     |         |     |                    |                         |      |                                      |     | 収 入     |        |
|--------|---------------------------------|-----|---------------------|---------|-----|--------------------|-------------------------|------|--------------------------------------|-----|---------|--------|
|        | 調査研究費                           | 研修費 | 広報・広聴費              | 要請陳情活動費 | 会議費 | 資料作成費              | 資料購入費                   | 事務所費 | 事務費                                  | 人件費 | 政務活動費   | その他    |
| 加藤 俊一  | 63,178<br>愛知大学、愛知県豊橋市、東京都町田市視察等 |     |                     |         |     |                    | 9,024<br>地方議会人購読料       |      | 67,360<br>インターネット利用料、町村議会議員団体保障制度加入金 |     | 120,000 | 19,562 |
| 遠藤 章一  | 63,178<br>愛知大学、愛知県豊橋市、東京都町田市視察等 |     |                     |         |     |                    | 9,024<br>地方議会人購読料       |      | 67,360<br>インターネット利用料、町村議会議員団体保障制度加入金 |     | 120,000 | 19,562 |
| 佐々木賢一  | 120,126<br>北海道別海町視察             |     |                     |         |     |                    | 9,024<br>地方議会人購読料       |      | 22,000<br>町村議会議員団体保障制度加入金            |     | 120,000 | 31,150 |
| 金子 一郎  | 120,126<br>北海道別海町視察             |     |                     |         |     |                    |                         |      |                                      |     | 120,000 | 126    |
| 高梨 勇吉  | 45,965<br>愛知大学、愛知県豊橋市視察         |     |                     |         |     |                    | 32,631<br>地方議会人、農業新聞購読料 |      | 65,545<br>インターネット利用料、町村議会議員団体保障制度加入金 |     | 120,000 | 24,141 |
| 齋藤 修一  | 63,178<br>愛知大学、愛知県豊橋市、東京都町田市視察等 |     |                     |         |     |                    | 9,024<br>地方議会人購読料       |      | 65,999<br>インターネット利用料、町村議会議員団体保障制度加入金 |     | 120,000 | 18,201 |
| 淀 秀夫   | 120,126<br>北海道別海町視察             |     |                     |         |     |                    | 9,024<br>地方議会人購読料       |      | 22,000<br>町村議会議員団体保障制度加入金            |     | 120,000 | 31,150 |
| 斉藤 智志  | 45,965<br>愛知大学、愛知県豊橋市視察         |     |                     |         |     | 27,500<br>プリンターインク | 40,500<br>地方議会人、農業新聞購読料 |      | 22,000<br>町村議会議員団体保障制度加入金            |     | 120,000 | 15,965 |
| 橋本 欣一  | 45,965<br>愛知大学、愛知県豊橋市視察         |     |                     |         |     |                    | 9,024<br>地方議会人購読料       |      | 65,545<br>インターネット利用料、町村議会議員団体保障制度加入金 |     | 120,000 | 534    |
| 神村 建二  |                                 |     | 43,400<br>議会活動報告郵送料 |         |     | 9,808<br>プリンターインク  | 9,024<br>地方議会人購読料       |      | 65,545<br>インターネット利用料、町村議会議員団体保障制度加入金 |     | 120,000 | 7,777  |
| 鈴木清左衛門 | 59,778<br>愛知大学、愛知県豊橋市視察         |     |                     |         |     |                    | 9,024<br>地方議会人購読料       |      | 74,617<br>インターネット利用料、町村議会議員団体保障制度加入金 |     | 120,000 | 23,419 |
| 鈴木 幸廣  | 45,965<br>愛知大学、愛知県豊橋市視察         |     |                     |         |     |                    | 9,024<br>地方議会人購読料       |      | 65,545<br>インターネット利用料、町村議会議員団体保障制度加入金 |     | 120,000 | 534    |
| 伊藤 進   | 45,965<br>愛知大学、愛知県豊橋市視察         |     |                     |         |     |                    | 9,024<br>地方議会人購読料       |      | 69,174<br>インターネット利用料、町村議会議員団体保障制度加入金 |     | 120,000 | 4,163  |
| 伊藤 寿郎  | 120,126<br>北海道別海町視察             |     |                     |         |     |                    |                         |      |                                      |     | 120,000 | 126    |

事業費の確定で減額

専 決  
処 分

専決処分した平成30年度補正予算

| 項 目                    | 内 容    | 補 正 額       | 総 額            |
|------------------------|--------|-------------|----------------|
| 一般会計<br>(第8号)          | 交付金の決定 | ▲3億5120万円   | 103億7388万6000円 |
| 下水道事業<br>特別会計<br>(第5号) | 事業費の確定 | ▲190万2000円  | 5億146万6000円    |
| 介護事業<br>特別会計<br>(第5号)  | 事業費の確定 | ▲9776万5000円 | 18億1992万9000円  |

平成30年度一般会計予算ほか2会計の専決処分が行われ、それぞれ承認を求められた。いずれも交付金や、事業費の確定によるもので、議会を招集する時間がなかったため、専決処分を行った。専決処分された額は表の通り。

予定していた財政調整基金からの繰り入れは全額戻された。  
全員賛成により承認

専決処分とは  
議会の権限に属する事項について、町長が議会に代わって意思決定を行うこと。

平成30年度の事業において、年度内にその事業の支出が終わらない見込みのあるものについて、翌年度に繰り越し使用できる。表の5事業がそれにあたる。新庁舎整備については造成工事が5月31日までに完了。社会福祉費として、低所得者と子育て世帯を対象としたプレミアム商品券発行。農業費として、担い手確保・経営強化支援事業で農業機械等導入補助。空調設備整備事業では、大塚小学校と川西中学校が整備されることとなる。町当局は、これらの

平成30年度から繰越した事業

| 事業名            | 繰越額          | 財源内訳    |            |          |           |
|----------------|--------------|---------|------------|----------|-----------|
|                |              | 既収入特定財源 | 国県支出金      | 町債       | 一般財源      |
| 新庁舎整備事業        | 9076万円       | 2169万円  |            | 6490万円   | 417万円     |
| プレミアム付き商品券事業   | 138万5000円    |         | 138万5000円  |          |           |
| 担い手確保・経営強化支援事業 | 854万1000円    |         | 854万1000円  |          |           |
| 小学校施設空調設備整備事業  | 3939万8000円   |         | 425万円      | 3510万円   | 4万8000円   |
| 中学校施設空調設備整備事業  | 5510万1000円   |         | 842万3000円  | 4650万円   | 17万8000円  |
| 合 計            | 1億9518万5000円 | 2169万円  | 2259万9000円 | 1億4650万円 | 439万6000円 |

事業を遅滞なく進めるとしている。  
全員賛成により承認

繰越明許とは  
年度内に予定していた事業が終わらず、予算を次年度に繰越して事業を完成させること。議会の承認が必要。

5事業繰り越し

国の一次補正関連など



## 意見書

# 国へ消費税引き上げ 中止を求める意見書

請願の採択を受け、国に対して意見書を提出することとした。

政府は予定通り、令和元年10月から消費税10%に引き上げようとしている。税率引き上げが実施されれば、地域経済をさらに疲弊させ、中小企業や小規模事業者の経営を脅かし、雇用不安を招くなど国民生活への影響は計り知れない。軽減税率による混乱も心配され、低所得者ほど負担が重いのが消費税の特徴である。

「いま、消費税を上げる時なのか」といった声が大きく広がっている。

こうした趣旨から、令和元年10月からの消費税10%への引き上げを中止するよう求める。

提出先  
衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣

賛成多数により可決  
(反対6人)

## 元号改正による 条例改正

### 臨時会

第1回臨時会  
5月7日

「平成」から「令和」

元号を改める政令が施行されたことに伴い、関係条例の整備を行うため制定するもの。

令和元年5月1日以降に適用となる年号を

### 税条例等の一部改正

消費税率引き上げに伴い地方税法の関係条例を改正。

主な改正は、(1)川西

町税条例一部改正。(2)川西町税条例等の一部を改正する条例を関係法律に沿った内容に変更。(3)川西町税条例等の一部を改正する条例。

資本金1億円超の法人が報告書の提出を電子的に行えない場合の措置。(4)国民健康保険税条例一部改正関係(5)都市計画税条例の一部改正関係

全員賛成により可決

「平成」から「令和」に改めるもの。

全員賛成により可決

## 全員協議会

5月15日  
全員協議会

1 新潟山形南部連絡道路の整備促進以下19項目の重要事業要望について説明があった。

2 旧サンマリーナ五庭における太陽光発電事業の状況について説明があった。

6月18日  
全員協議会

1 新地方公会計制度による、財務書類の統一基準で、複式簿記として平成29年度財務書類が公表された。

2 昭和49年建設から44年が経過し老朽化が進む「南陽やすらぎ荘」整備等について報告があった。

3 置賜広域行政事務組合議会臨時会について報告がなされた。



整備計画が出された「南陽やすらぎ荘」

## 請願

## このように審査しました

| 請願名                        | 請願者・紹介議員                                                                        | 主な内容                                                                  | 所管            | 審査結果                 | 本会議           |
|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|---------------|----------------------|---------------|
| 町道黒川橋線に関する請願書              | 川西町大字下奥田128<br>荒窪自治会長 渡邊 勝義<br>紹介議員 淀 秀夫                                        | 県道大塚線を起点とし、西へ1484mの区間を拡幅の請願。                                          | 産業厚生<br>常任委員会 | 趣旨に沿い<br>難く不採択       | 賛成少数に<br>より否決 |
| 町道八幡原2号線に関する請願書            | 川西町大字下奥田802-8<br>八幡原自治会長 嶋貫 敏明<br>紹介議員 淀 秀夫                                     | 公民館付近から東へ426m区間で幅員4mと狭いので拡幅の請願。                                       | 産業厚生<br>常任委員会 | 趣旨に沿い<br>難く不採択       | 賛成少数に<br>より否決 |
| 2019年10月からの消費税10%中止を求める請願書 | 川西町大字小松1300<br>戦争させない・9条壊すな・川西町民の会<br>代表 鈴木 廣<br>紹介議員 吉村 徹                      | 消費税率が引き上げ実施されれば、地域経済が更に疲弊。「軽減」による複数税率による混乱も心配されることから、中止を求める意見書提出の請願。  | 総務文教<br>常任委員会 | 賛成多数により<br>願意妥当で採択   | 賛成多数により<br>可決 |
| (旧)高山小学校(体育館屋根)に関する請願書     | 川西町大字高山1527<br>高山小を語る会<br>会長 井上 要一<br>紹介議員 高橋 輝行                                | 社会体育施設として利用されている体育館屋根が、赤さび等の発生により劣化が進んでいる状況から、早急な対策を求める請願。            | 総務文教<br>常任委員会 | 指定避難所でもあり<br>願意妥当で採択 | 全員賛成により<br>可決 |
| (旧)大洋合板南側農道請願書             | 川西町大字上小松3218-9<br>桜木町自治会長 井上 一則<br>川西町大字上小松5639-1<br>花丘町自治会長 佐藤 義昭<br>紹介議員 淀 秀夫 | 住民生活利便性向上のため、(旧)大洋合板南側農道拡幅の請願                                         | 産業厚生<br>常任委員会 | 趣旨に沿い<br>難く不採択       | 賛成少数で<br>否決   |
| 危険空き家の倒壊防止に関する請願書          | 川西町大字下奥田1379<br>町議会議員 高橋 輝行<br>紹介議員 島貫 偕                                        | 倒壊や景観上並びに防犯上の観点から地域の生活環境に悪影響を及ぼし、隣家や付近の住民、通行者へ不安を与えているので、特段の配慮を求める請願。 | 総務文教<br>常任委員会 | 趣旨に沿い<br>難く不採択       | 賛成少数で<br>否決   |

## 6月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により賛否の分かれたもののみ、各議員の議案に対する賛否状況を報告する。

| 議席番号                           | 1     | 2     | 3     | 4     | 5    | 6    | 7     | 8    | 9     | 10    | 11   | 12    | 13    | 14    |
|--------------------------------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| 議員名                            | 井上 晃一 | 遠藤 明子 | 渡部 秀一 | 寒河江 司 | 吉村 徹 | 島貫 偕 | 伊藤 寿郎 | 伊藤 進 | 神村 建二 | 橋本 欣一 | 淀 秀夫 | 高橋 輝行 | 鈴木 幸廣 | 加藤 俊一 |
| 請願1号 町道黒川橋線に関する請願書             | ×     | ×     | ×     | ×     | ×    | ×    | ×     | ×    | ×     | ×     | ○    | ○     | ×     |       |
| 請願2号 町道八幡原2号線に関する請願書           | ×     | ×     | ×     | ×     | ×    | ×    | ×     | ×    | ×     | ×     | ○    | ○     | ×     |       |
| 請願3号 2019年10月からの消費税10%中止を求める請願 | ○     | ○     | ×     | ×     | ○    | ×    | ×     | ○    | ○     | ○     | ×    | ×     | ○     |       |
| 請願5号 (旧)大洋合板南側農道請願書            | ×     | ×     | ×     | ×     | ×    | ×    | ×     | ×    | ×     | ×     | ○    | ○     | ×     |       |
| 請願6号 危険空き家の倒壊防止に関する請願書         | ×     | ×     | ×     | ×     | ×    | ×    | ○     | ×    | ×     | ×     | ○    | ○     | ×     |       |
| 発議14号 消費税10%中止を求める意見書の提出について   | ○     | ○     | ×     | ×     | ○    | ×    | ×     | ○    | ○     | ○     | ×    | ×     | ○     |       |

町提出案件13件、請願6件、議員発議4件

○は賛成、×は反対、－は欠席。議長は賛否に加わらない。上記以外は出席者全員賛成。



# ダリヤパークサービス パークゴルフ場に期待

地方自治法により、町から2分の1以上の出資や財産の支援を受けている法人等は、議会に対して毎年経営状況を報告しなければならないとされている。

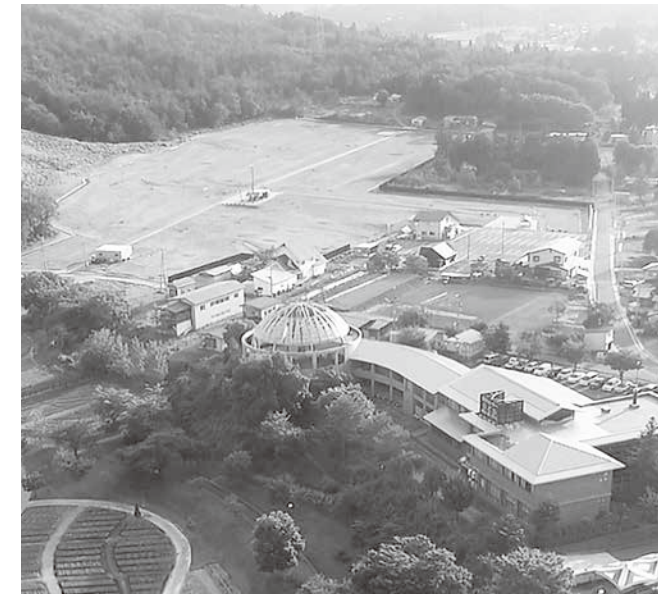
本町では、(株)ダリヤパークサービス(片倉尚社長、川西町体育振興公社(多田敬吉理事長)、川西町土地開発公社(山口俊昭理事長)が該当し、それぞれ報告があった。

本定例会初日に平成30年度(株)ダリヤパークサービスの経営状況の報告があった。

「まどか」「ダリヤパークゴルフ場」を合わせた総売上は1億9337万円。売上総利益は1億6383万円。

「まどか」30年度の総利用者は13万6504人で、29年度より2843人減少した。部門別ではレストラン部門と宿泊客部門が減少し、温泉、宴会部門が増加した。

この結果総利益は1



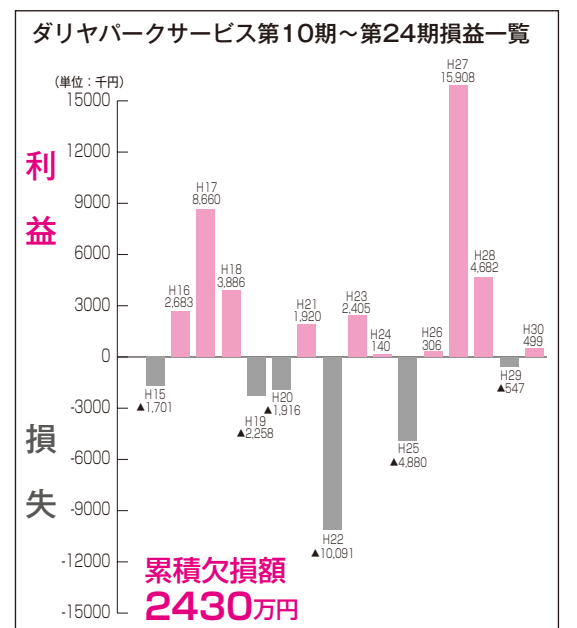
観光と健康の一体化 まどかとパークゴルフ場

億4819万円で前年度より310万円増となったが、人件費や水道光熱費等の固定費が増額となった。

施設の各種備品等も更新時期を迎えており、国の制度資金を活用して更新を図った。

「ダリヤパークゴルフ場」当初30年5月にオープン予定であったが、芝の状況から養生が必要となり、7月のオープンとなった。利用者数は9081人。7月から11月まで132日の営業日数で、1日平均利用者は68・8人となった。利用料、食堂・売店の売上総利益は1564万円。

今後大きな期待が寄せられる。



## 川西町体育振興公社

川西町体育施設管理業務の指定管理者として、生涯教育を通して町民の主體的な健康と体力づくりに関する事業を行った。

委託を受けた2業務や、各種スポーツ大会の業務及び指導助言。広報活動にも力を入れた。

本年度も委託業務と各種スポーツ大会の業務を通じたスポーツの振興を図っていく。

## 川西町土地開発公社

開発用地の維持管理を行ったほか、駅東地区公共用地売却。尾長島工業団地内企業誘致用地の維持管理を行った。

たほか、同内の付帯用地取得に務めた。

公社所有の土地売却促進にも努めた。

## 広聴広報常任委員会 「議会報が読まれ、役立つ 効果ある『議会だより』の編集」

5月31日、ビックウイングにて第36回山形県町村議会広報研修会が開催され、新体制の委員6人が参加した。

講師は、全国コンクリートの審査委員でもある、議会広報サポーターの芳野政明氏であった。誌面づくりの上で、

「住民が読む」ものとして、読みやすく、わかりやすく、住民目線を意識し、誌面に誘導するテクニクや工夫の講義が行われた。

実際の広報誌のクリニク(誌面指導)では11誌の指導があり、一つ一つ丁寧な詳しい指導が行われた。



効果的な議会だよりを目指す編集委員。講師の芳野先生とともに

本町議会だよりは「シリーズ議会改革」・「町民の声」など常設企画も多彩で、各テーマの切り口も明快、見出しや写真の効果的配置で読みやすい誌面との評価を受けている。今後も歴史ある編集力の継承と、時代のニーズに応える広報誌を作っていきたい。

### 委員よりひとこと



伊藤 寿郎  
関心を高める情報発信に努めます



遠藤 明子  
女性目線でも記載出来るよう務めます



鈴木 幸廣  
議会だよりのご愛読よろしく申し上げます



伊藤 進  
一意専心、全力で頑張ります



渡部 秀一  
楽しい議会だよりを作ります



井上 晃一  
カメラを持って町中を駆け回ります

## 広報モニターから ひとこと① 中郡 白石 義典 さん



文字も大きくて見やすく丁寧な文面に感心しました。

元号が令和になって初めての6月議会で5名の議員の一般質問を傍聴しました。

思うこと  
文章を書くのが苦手な私、モニターの依頼に不安もありましたが、お引き受けしました。

早速、「議会だより」を読んでみて、モニターからのひとことのページがあることを初めて知りました。内容は項目ごとに整理され、

役場新庁舎の建設が始まり完成するのが楽しみです。町には幾つかの課題があります。人口減少、家業の担い手不足、高齢者世帯の増加、子どもの教育、働く場の確保など、議員の皆さんには町民一人ひとりの代表者として多くの声を町当局へ届けてほしいと願っております。議会傍聴は私にとって大変貴重なものとなりました。

町民の皆さんも一度議会へ足を運んでみてはどうですか。



# 意見交換会

8月21・23日

## 皆さんおいでください



活発な意見が交わされた昨年の吉島地区交流センター

### 日程

小松地区 8月21日(水) 午後7:00～9:00  
中央公民館 3階 視聴覚室  
中郡地区 8月23日(金) 午後7:00～9:00  
中郡地区交流センター  
大塚地区 8月21日(水) 午後7:00～9:00  
大塚地区交流センター

議会では地区ごとに意見交換会を開催しています。7年目の今年は、過去2年間と同じ地区まわりで行います。今年は、小松・大塚・中郡で開催します。今年のテーマについて

皆さんの要望・意見に対し、執行者ではない議員側からの回答となりますが、要望・意見は今後、議会が行う政策提言などに生かしていきます。改選後の初めての開催です。フレッシュな顔がそろいますのでご期待ください。どうぞ気軽にご参加ください。

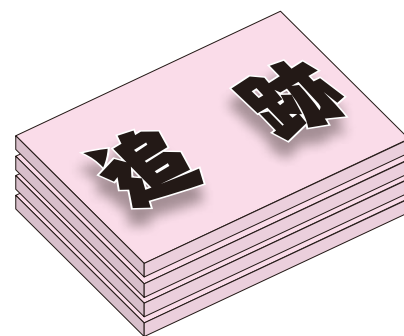
議会だよりを編集する広聴広報常任委員の交代とともに、議会広報のモニターとアドバイザーを新しくお願いしました。モニターは各地区から1人（小松地区は2人）をお願いしました。豊かな経験と多様な見方で、議会への意見をいただきました。と思っています。毎号「モニターからひとこと」に登場していただきます。議会がどのように映るか、ご期待です。

議会広報アドバイザー  
（文章）  
金子 勤（上小松）  
佐々木賢一（上奥田）  
遠藤 勝則（尾長島）  
（写真）  
青木 督平（東大塚）  
山田 順一（朴沢）  
神尾 元（小松）  
淀野 茂子（小松）  
長谷川由紀（大塚）  
古山 司（大川）  
白石 義典（中郡）  
伊藤 智子（玉庭）  
齋藤 寛（東沢）  
遠藤美由紀（吉島）

モニター  
アドバイザー  
決まる  
よろしく  
お願いします

## まちの未来が見える（6月定例会の傍聴者は20人） 議会傍聴においでください 次回定例会は9月です

定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継。議会フェイスブックもご覧ください。



## あれから…… どうなった！



総合的な防災情報伝達を確実に

平成27年9月  
一般質問  
災害情報



平成28年  
防災行政無線  
20局に  
令和元年6月  
防災情報  
伝え方変更

平成27年9月定例会の一般質問で災害情報提供の質問があった。災害情報や、危険情報を適切に伝える防災行政無線の設置数およびその他の情報発信はどうか。

## 防災情報発信が変わる 警戒レベル4で全員避難

| 警戒レベル             | 避難行動等                                        | 避難情報等                     |
|-------------------|----------------------------------------------|---------------------------|
| 警戒レベル5            | 災害が発生している命を守るための最善の行動                        | 災害発生情報<br>〔市町村が発令〕        |
| 警戒レベル4<br>全員避難    | 速やかに避難先へ避難しましょう                              | 避難勧告・避難指示（緊急）<br>〔市町村が発令〕 |
| 警戒レベル3<br>高齢者等は避難 | 避難に時間を要する人（高齢者の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難をしましょう | 避難準備・高齢者等避難開始<br>〔市町村が発令〕 |
| 警戒レベル2            | 避難行動を確認                                      | 洪水注意報・大雨注意報等<br>〔気象庁が発表〕  |
| 警戒レベル1            | 災害への心構えを高めましょう                               | 早期注意情報<br>〔気象庁が発表〕        |

平成28年度に、防災行政無線のデジタル化を実施するまでは、消防アナログ波を使用したスピーカーが12局設置されていた。法律により28年5月

末までしか使用できないため、市町村デジタル波を使用した「同報系防災行政無線」として8局を増設し、20局での再整備を図った。この整備により、さまざまな災害・危険情報を適時適切に町民に知らせることが可能となり、さらに気象警報をはじめ、クマ・サル・イノシシなどの有害鳥

獣の出没情報、交通事故や食中毒の予防喚起、行方不明者の捜索協力や不審者情報の提供も行ってきた。また、最近では小学校の下校時に通学路沿線の町民の方に見守りをお願いする放送も行っている地区もある。最近では地震・豪雨による水害や土砂流出など県内各地でも記憶に残るような災害が多発している。本年の6月から、水害・土砂災害の防災情報の伝え方が表のように変わる。このような、避難情報の伝達には、防災無線は欠かせないものとなる。現在の20局の体制では、気象状況にもよるが聞き取れない世帯があるのではないかと心配もあり、情報伝達の方法をさらに検討する必要がある。



## 子どもが遊べる

## 場所ほしい

犬川地区にお住まいの  
古山愛さんに子育てや  
町に望むことをお聞き  
しました。

## ◇ プロフィール ◇

古山 愛(ふるやま あい)

川西町小松

家族 父、母、夫

子ども2人、愛犬の7人家族

趣味 映画鑑賞

生まれも嫁ぎ先も川西

私は、川西町内に生まれ、嫁ぎ先も同じ川西町です。そして、二人の子どもたちに恵まれ、幸せに暮らしています。上の子は、私と夫の母校である犬川小学校に通い、先生方のご指導のもと、明るく元気な子に育っています。下の子も、来年には同じ小学校に通うので、とても楽しみにしています。

## 絆が強いまち

町の現状は、昔と違って町民が減り、私の地区でも若い人たちが、子どもたちが減ってきています。また、今の若い世代の人たちは、さまざまな職種に就いており、土日祝日に休

みがある方ばかりではありません。家族で出かけることを優先にしたいと考える人もいます。

しかし、川西町はこれまで、特に両親、祖父母世代の繋がりや絆が強く、スポーツ大会を通してのコミュニケーションが、とても多いなと思っています。その思いは、大人同士、親同士仲良く協力して助け合い、楽しい町をつくっていかうという願いが込められているのだと思います。

## 子どもたちの施設

これからは、令和に



家族の絆を大切に

もなり、新しい年号を刻んで行くので、子どもたちが楽しめる行事を考えてほしいと感じています。

子育てをしていくのに、ママ友で話題となるのが川西町には子どもを遊ばせる場所がないということ。休日には町外の公園や室内遊戯場を求めて出かれます。

子どもたちが「川西町は、安全で楽しい町」だと実感でき、「こんな川西町をつくっていききたい」と思えるよう、私たちは行動していかなければならないと思います。

## 編集の後で

▼4月の選挙で新人6人が当選し、広聴広報常任委員のメンバーも3人が新人となった▼モニター、アドバイザーも決まって委嘱状が交付され、「町民と一緒につくる議会だより」を目指して活動がスタートした▼町民の視点で、より見やすく、読みやすく、分かりやすい編集方針を大事にしています。

(じゅろう)

発行責任者 加藤 俊一

委員長 伊藤 寿郎

副委員長 遠藤 明子

委員 鈴木 幸廣

同 伊藤 進

同 渡部 秀一

同 井上 晃一

アドバイザー(文章) 金子 勤

同 佐々木 賢一

同 遠藤 勝則

アドバイザー(写真) 青木 督平

同 山田 順一